

## 【地元を活気づける】

妻の綾香さん、長男の尚樹さんの3人で約18<sup>㊦</sup>の農地に水稲や小麦、ハクサイ、キャベツを栽培しています。今から3年前に地域の仲間3戸で「株式会社サンミライズ」を設立。法人化により農作業が効率化され、体への負担が軽減されたことでメリットを実感しました。

法人で作業を行うことで、これまでの農業の見方も徐々に変化し、現在は幌達布地区を盛り上げるために仲間たちと日々奮闘しています。

# 農業に 懸ける 情熱



### 【同じ志を持つ仲間】

「以前から農業に興味はありましたが、30歳ぐらいまではサラリーマンとして働きながら、農業を手伝っていました。将来、農家を継ぐと決めていたわけではありませんでしたが、農業には家族や地域の仲間と助け合いながら仕事ができるという魅力を感じ、就農を決意しました」と笑顔で話をしてくれた修さん。

数年前から地域の仲間たちの中で、農業技術の高位平準化や労働力集約などを目的に農業法人を設立する話が出るようになり、「息子が農業を継いでくれるのかもわからなかったので、法人への参加を迷っていました。息子が大学を卒業するときに、就職はしないで農業をする」と言ってくれたので法人への参加を決意しました。それからは同じ幌達布地区の共同体と助け合い、さまざまな情報交換をするようになり、今年で3年目の小麦の刈取り作業を迎えます」

修さんは法人化により地域の生産者と関わる機会が増えたことで、高齢化や後継者不足など地域農業の課題を感じるようになり、「個人で営農していた時には見えなかった幌達布地域の高齢化や後継者不足問題はかなり深刻なものでした。幌達布地域を何とかしようと仲間たちと協力して課題解決に努めていきたいです」と話してくれました。最後に「農業は失敗と勉強の連続です。反省を活かすために家族や仲間と手を取り合い、農業に向き合えることが農業の魅力だと思います。息子も地域の仲間たちからいろいろな技術を吸収して農業に魅力を感じ、農家をして良かった」と実感してもらえよう農業経営を行っていきたくて「農業に懸ける情熱を話してくれました。」

岩見沢市北村幌達布

と  
い  
おさむ  
土居 修 さん(51歳)